



テュートリアル課題 静かなようでも

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2012
号	S2
発行年	2012-08-30
URL	http://doi.org/10.20780/00031785

2012年度 Segment. 2

課 題 No.3

課題名：静かなようでも

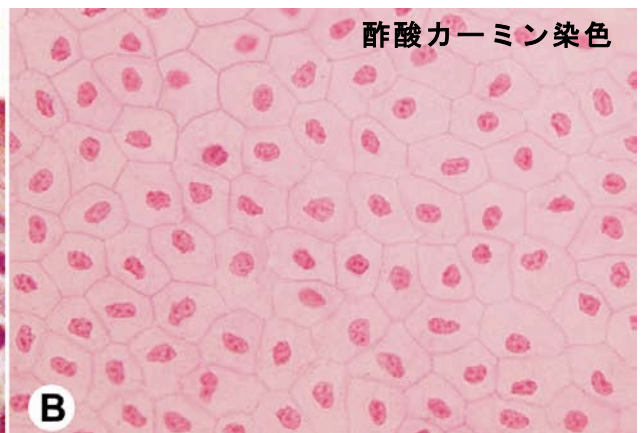
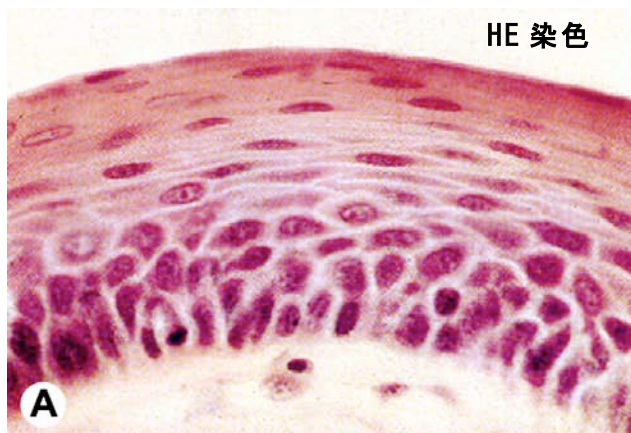
課題作成者：解剖学・発生生物学
物理学

森川俊一
山口俊夫



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート 1



女子医大1年生のある学生さんがA、Bの顕微鏡写真を見て思いました：

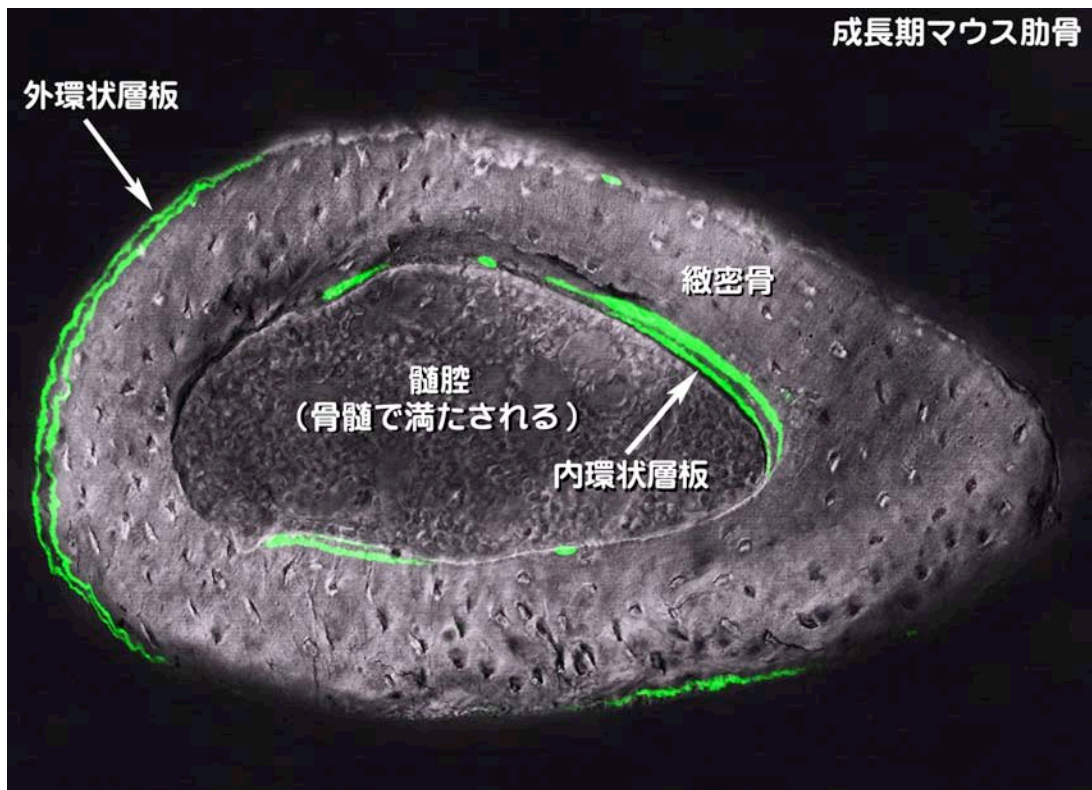
「今習っている組織の講義や実習で見たことあるな。これらの組織は確か・・・？」



次に、写真C、Dを見て考えました：

「こちらは何だろう？木の年輪のようにも見えるけど。A、Bとは違うタイプの組織かな？」

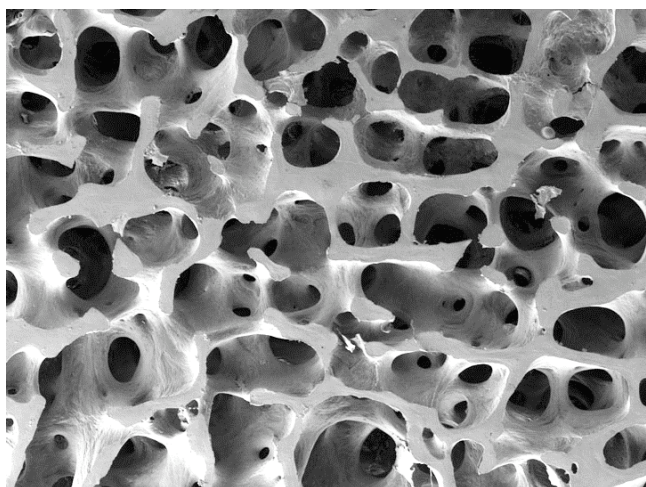
シート 2



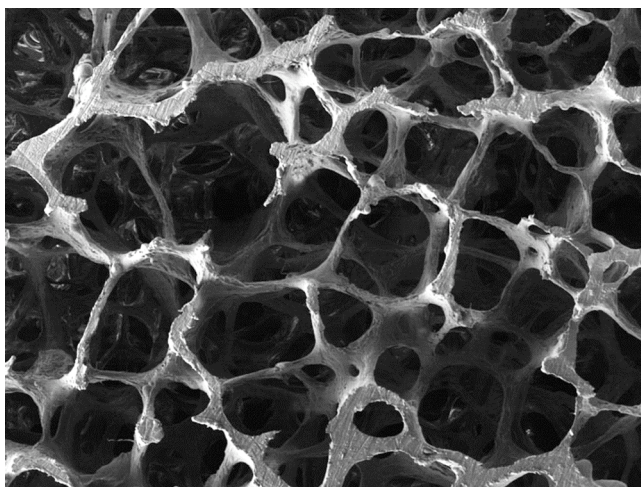
〔図の説明〕

カルシウムと結合する蛍光物質を、成長期のマウスに5日のインターバルをおいて2回投与した。図はそのマウスの骨組織を示している。蛍光物質の沈着部が緑色に光って見える。

シート 3



20 代男性の海綿骨



80 代女性の海綿骨